



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

第122号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

2012年

5月発行

しん ぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 3400円

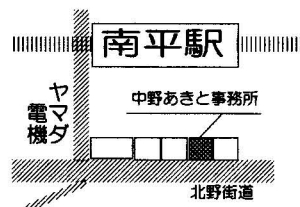
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



「なぜやめるのか」ひのつ子元氣プール

3月議会で中野議員が追及

世代を超えて長年続いてきた夏休みの「開放プール」を、やめると市長が言い出しました。新年度予算で「開放プール」

(正式名称は『ひのつ子元氣プール』)事業の予算560万円を全額カットしたのです。これまで夏休みに約5日間、すべての小学校で行われて、延べ8000人の子どもたちが楽しんで参加した事業です。

廃止の理由について、市は「昨年現場に行ったが、子どもたちは本当に楽しんでる」「保護者(監視している)の負担が大きいということだ」と、廃止が保護者の声であるかのよう

に弁明したり、「大阪で起きた『開放プール』での死亡事故を踏まえて」と、子どもの安全への配慮であるかのように述べています。

しかし、保護者からは存続の要望こそあれ廃止を求める声はあがっていないのが実態です。また、大阪の事故は、当時、委託業者からのアルバイト一人で監視という体制の不備から起きたもので、常時4〜6名の監視員を配置して運営している日野

市の「開放プール」事業を廃止しなければならぬ理由にはなりません。他市でも「開放プール」は行われていますが、安全を理由に廃止したところはありません。

市は、この間、子どもたちの夏休み「ひのつ子」事業をとりやめ、新年度から「開放プール」とともに土曜日の校庭開放も止めるとしています。未来を担う子どもたちの楽しみや居場所を次つぎに奪わなければならない理由がどこにあるのか。3月議会で丁寧に質問したつもりですが、課長、部長、教育長と、代

わる代わるの答弁でも、まともな理由は聞かれませんでした。道理も説明もつかない方針は撤回して、子どもたちのために続けさせる必要があると感じました。

中野あきと

ひのつ子元氣プールは廃止しないで欲しい。私は学校の授業だけではなかなか泳げるようにならず、毎年、ひのつ子に通い練習しました。

(市政アンケートの声から)

やめる理由も道理もない 教室へのエアコン設置

昨年から始められ、3年間で整備するとしていた小中学校の全教室へのエアコン設置計画が、残り2年間の計画を残しストップすることになりました。計画1年目の昨年夏は、3階以上の教室にエアコン設置が完了し、今年は2階、最終年度は1階への設置が計画されていました。

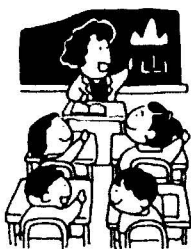
ところが市長は、「いよいよ教育や福祉へのかつてない切込みをせざる得なくなった」と「財政困難」が理由であるかのように弁明しています。

だが、ちよつと待ってほしい。エアコン設置の財源の中で市の一般財源の占める割合は1%。ほとんどは国や都の補助金と起債で賄われることになっています。しかも都の補助金は今年度が最後で、来年度以降は無くなる可能性が濃厚なのです。

猛暑の中での教室内の環境をどう考えるのか。保護者や市民の皆さんからは、厳しい声があがっています。

教育・子育ての予算削減に驚きました。下校時の「見守り隊」や「クーラー設置」は元に戻してほしい。

(市政アンケートの声から)



短信

数年前になるが東電のPRバスツアーで福島原発へ見学に行った。低レベル放射性廃棄物を入れた黄色いドラム缶が無数に並んでいる光景を見た。妻は「フツ」と言っていたが、そこへ東日本大震災で原発の爆発である▼高レベル放射性廃棄物の最終処分地はまだ決まっていな。テレビでフィンランドの例を放映していた。廃棄物は30〜50年放置して、熱を下げた後に地下400mに25万年閉じ込めるとい。途方もない時間だ▼ホモサピエンスが出現して10万年、25万年前はネアンデルタール人の時代である。25万年後は「何人」と呼ばれているのだろうか▼処理できないような廃棄物をとんどんつくることは、「後は野となれ山となれ」そのものである。近松門左衛門の「冥途の飛脚」の飛脚は封印切りをし「後は野となれ」と遊女と逃げ、死罪である。フランスのポンパドール夫人は同じ意味で「大洪水よ、わが亡き後にきたれ」と浪費し、フランス革命の引き金を引いた▼夫人は晩年「私たちの後は、地獄だけ」と言ったという。これと同じならてはたまらない。真剣に再生可能エネルギーを目指すべきだ。(H)

震災がれきの受け入れで

日本共産党市議団が市に申し入れ

日本共産党市議団は4月13日、震災がれきの受け入れについて馬場市長に申し入れを行いました。国の広域処理方針に対して日野市の考え方を明確にすることや、市民の合意なしに進めないことなどを求めたものです。申し入れは以下のとおりです（要旨）

政府は岩手・宮城両県のがれきの約20%を、被災地以外の広域で処理するという方針を打ち出しています。これに対し受け入れに慎重な自治体から、①放射性廃棄物は、基本的に拡散させないとの国際的原則に立つべきこと。②放射性廃棄物の処理基準が100ベクレルから震災後に8000ベクレルになっているが大丈夫か③被災地での焼却処理は支援により全量がれき処理が可能であり、輸送コストがかからず雇用の確保で被災地復興につながるなどが上がっています。

日本共産党市議団は、日野市が被災地の復興に尽力することに協力は惜しみませんが、同時に、市民の健康、安全を守るという地方自治体の一番大事な使命を十分踏まえ、被災地の復興支援とがれきの処理問題に関する独自の対応をすべきと考えます。

また、受け入れの判断は、周辺住民はもとより広く市民の理解と合意が大前提と考えています。

以上の観点から市長におかれましては、以下の対応をとられることを強く要望します。

① 政府に対して、◆被災地におけるがれき処理能力の強化を図ること、◆がれき処理に関する基準を見直しその根拠を明確にすること、◆十分な財政措置をとることについて、責任をもった対応を行うよう要望すること。

② 周辺住民への説明会の継続、市民全体を対象にした説明会を開くとともに市民の合意なしに受け入れを進めないこと。

以上

市民の森ふれあいホール

競技フロアが見えない! どうして?

ふれあいホール2階には、必要な時だけ使えるよう、引き出し式(収納式)のベンチタイプ観覧席が設置されています。しかしこの観覧席、下から上までどこに座っても1階体育館のフロア手前側が見えず、試合観戦が出来ません。観覧席から手すりまでの距離があり、手すりが高いからです。新年度予算で、新たな可動式観覧席のために1940万円が計上されています。

また多摩国体では、ふれあいホールでボクシングと空手が行われますが、ボクシングリングを購入する予算が500万円計上されています（東京都補助金で購入）。「今後のボクシングの試合数を考え、リング購入でなくレンタルや業者委託の方が良いのでは。無駄遣いでは？」の声が上がっています。

手前側が見えない観覧席



◇◇ミニ・ニュース◇◇

■平山6丁目生コン工場問題で住民説明会

日野市による住民説明会が4月5日行われ、市の説明でいまだに操業停止命令を出していないことが明らかになり、住民から厳しい抗議の声があがりました。「これ以上違法操業を認めることはできない」などの追及に、担当部長からは「もし6月30日以降に稼働していた場合は、強制的に止めに行く」という発言が行われました。

■区画整理懇談会開かれる

中野あきと市議を助言者とする区画整理懇談会が、4月28日、東・西平山地域および豊田地域それぞれで開催されました。区画整理の基本や、出席者の疑問などを出し合って話し合いました。また、あまりに進まない区画整理に、今後の生活の見通しがたかないなどの意見が出されました。

《2012年6月無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

6月 14日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。

消費税の増税と社会保障・財政危機について 日本共産党はこう考えます

【その2】ボロボロにされた社会保障 たて直しの財源をどうする

医療も介護も年金もボロボロになった社会保障。少なくとも医療費の窓口負担は子どもは無料、現役世代は2割に、高齢者は1割に抑えること。年金が毎年減らされるのを止め、特養ホームや保育所の待機者をゼロにすることなどを急ぐ必要があります。政府や財界は、「社会保障をよくしたければ消費税をあげろ」と言いますが、富裕層や大企業への減税はちゃっかり温存したままです。もともと税には「負担能力に応じた負担」—

「応能負担」という大原則があるのに、これを崩しているのが日本の税制です。

財源確保でまずやるべきは、大型開発や軍事費などのムダ遣いの一掃です(3.5兆円)。同時に、富裕層、大企業優遇の不公平税制を見直すことです。そして新たに「富裕税」「為替投機税」「環境税」を導入します(8~11兆円)。

世界の動向を見てもオバマ大統領の「富裕層への増税」など、貧困と格差の解消に向けて富裕層への課税を強化する方向が強まっています。ところが日本では年間所得が1億円を超えると実際の税負担は軽くなり、社長さんの税率の方が社員より低いことにもなるのです。力に応じてみんなで社会を支えるためにも、こんなゆがみは正していくべきではないでしょうか。《つづく》